

作成協力者・推進委員・作成委員・実践協力校・協力者等 一覧

作成協力者

清原 洋一 文部科学省初等中等教育局主任視学官

推進委員

伏見 珠美 川俣町立山木屋小学校長
佐々木 清 郡山市立郡山第六中学校教諭
増子 啓信 相馬市立桜丘小学校教諭
阿部 洋己 富岡町立富岡第一中学校長
大内 克之 いわき市立三和小学校長

作成委員

湯田 公夫 福島県教育庁県北教育事務所指導主事
小林 一彦 福島県教育庁県中教育事務所指導主事
伊藤比呂美 福島県教育庁県南教育事務所指導主事
佐藤 毅 福島県教育庁会津教育事務所指導主事
大西 健夫 福島県教育庁南会津教育事務所指導主事
小林 正和 福島県教育庁相双教育事務所指導主事
松崎 健一 福島県教育庁いわき教育事務所社会教育主事兼指導主事
遠藤 謙一 福島県教育センター指導主事
田中 成和 福島県教育センター指導主事
横田徳三郎 福島県教育センター指導主事

実践協力校

伊達郡川俣町立川俣南小学校
郡山市立富田中学校
田村郡三春町立三春中学校
西白河郡西郷村立羽太小学校
会津若松市立謹教小学校
南会津郡南会津町立館岩中学校
相馬郡飯館村立白石小学校
いわき市立小名浜第一小学校
いわき市立小名浜第一中学校

福島県教育庁義務教育課・健康教育課・高校教育課作成委員

飯村 新市	教育庁参事兼義務教育課長	桑名 秀和	義務教育課指導主事
渡辺 惣吾	義務教育課主幹	吉川 武彦	義務教育課指導主事
福地 裕之	義務教育課主任指導主事	鳴川 哲也	義務教育課指導主事
助川 徹	義務教育課主任指導主事	菅野 重徳	義務教育課指導主事
小野 聡	義務教育課指導主事	羽染 聡	義務教育課指導主事
菅野 浩智	義務教育課指導主事	遠藤 博晃	義務教育課指導主事
大石 正文	義務教育課指導主事	千代田幸子	健康教育課指導主事
大竹 孝喜	義務教育課指導主事	柳橋 幸裕	高校教育課指導主事
佐々木初江	義務教育課指導主事		

協力

福島市教育委員会
川俣町教育委員会
伊達市教育委員会
郡山市教育委員会
石川町教育委員会
田村市教育委員会
三春町教育委員会
西郷村教育委員会
会津若松市教育委員会
三島町教育委員会
南会津町教育委員会
相馬市教育委員会
飯舘村教育委員会
富岡町教育委員会
川内村教育委員会
いわき市教育委員会

文部科学省
環境省
除染情報プラザ
独立行政法人放射線医学総合研究所
独立行政法人科学技術振興機構
独立行政法人宇宙航空研究開発機構
株式会社原子力安全システム研究所
国立大学法人福島大学
公立大学法人福島県立医科大学
いわき明星大学
公益財団法人日本科学技術振興財団
 廃炉・汚染水対策福島評議会事務局
福島県
藤岡 達也（滋賀大学教育学部）
大辻 永（茨城大学教育学部）
山口 克彦（福島大学共生システム理工学類）
秋津 裕（京都大学大学院）

「放射線等に関する指導資料」第1版～第4版の作成にかかわった方々

50音順に掲載します。また、敬称、所属等は省略させていただきます。

秋津 裕	芦野 孝彦	阿部 洋己	飯村 新市	五十嵐幸男	石幡 良子
板橋 竜男	伊藤比呂美	伊藤 靖隆	井上久仁夫	猪股 一教	猪俣 豊
今井不二子	今村 義泰	岩渕 邦雄	上田 昌文	遠藤 謙一	大石 正文
大内 克之	大辻 永	大河原久宗	大竹 孝喜	大竹 宏之	大和田範雄
岡田 努	押部 秀隆	小野 匡之	掛布 智久	笠井 淳一	加藤 直彦
金成 智子	亀田 光弘	川上 一美	菅野 重徳	菊池 篤志	菊池 淳一
喜多見久美	木村 政文	清原 洋一	鯨岡 寛泰	黒川 佳子	桑名 秀和
桑折 淳	小林 真一	小山 健幸	小松 信哉	酒井 勝弘	酒井 康雄
佐川 正人	佐々木 清	佐々木 透	佐藤 毅	佐藤 秀美	佐野 常浩
塩田 咲江	宍戸 朋子	志村 隆弘	重巢 吉美	管原 克章	助川 徹
鈴木 和美	関根 宏房	曾川 孝規	高貝 慶隆	高橋 伸明	高橋 信幸
高橋 政広	高橋 正之	武口 隆行	伊達多津也	堂山 昭夫	鳴川 哲也
難波 和生	二瓶 悦子	野崎万里子	芳賀 稔	塙 広治	林 泰成
原 孝行	福地 淳一	福地 裕之	伏見 珠美	古川 一博	星 健一
堀口 逸子	本間 稔	増子 春夫	増子 啓信	松井 史郎	三石 初雄
緑川 幸則	宗形 俊二	森下陽一郎	安田 良一	山口 克彦	山田 克行
湯田 公夫	吉川 武彦	吉田 尚	渡部 恵志	渡辺 惣吾	渡邊 真魚

放射線等に関する基礎的な語句に関する索引

- あ**
- アルファ線…………… 63,65,75
 - 汚染水(対策)…………… 15~17,19
- か**
- 外部被ばく…………… 47,82
 - 確定的影響…………… 70
 - 確率的影響…………… 70
 - 仮設住宅…………… 29,32
 - 学校給食モニタリング事業…………… 40
 - 環境創造センター…………… 34,55,56
 - 環境モニタリング…………… 71
 - ガンマ線…………… 18,63,65
 - 霧箱…………… 74
 - 空間線量率…………… 21,25~28,57
 - グレイ…………… 64,65
 - 原子力災害…………… 20,32,59,79
 - 原子炉建屋…………… 15~18
 - 県民健康調査…………… 47,49,79
 - 甲状腺検査…………… 47~49
- さ**
- 再生可能エネルギー…………… 58
 - 自然放射線…………… 67~69
 - シーベルト…………… 43,44,65,67,69,70,78
 - 除染…………… 16~19,24,42~46,54,55,72,79
 - 人工放射線…………… 67~69
 - セシウム… 19,24,32,33,37,40,41,46,63,66,68
 - 全量全袋検査…………… 35,37
- た**
- 透過力…………… 63
 - 東京電力福島第一原子力発電所…………… 12~17,19~22,24,26~29,31,39,40,43,46,47,54,57
- な**
- 内部被ばく…………… 48,68
 - 燃料デブリ…………… 15,59
 - のう胞…………… 48,49
- は**
- 廃止措置…………… 16,23
 - 廃炉…………… 15~19,23,59
 - 半減期…………… 24,40,66
 - ベクレル…………… 24,46,63~65,67
 - ベータ線…………… 63,65
 - 放射性物質・放射能・放射線…………… 000
 - ホールボディカウンター…………… 47,68
- ま**
- マーケットバスケット調査…………… 40,41
- や**
- ら**
- わ**
- リアルタイム線量測定システム…………… 50



東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故から5年が経過しました。復旧・復興に向けた様々な取組が行われている一方、あの時から時間が止まっているような場所もたくさんあります。

そのような状況において、未来を担う子どもたちには、放射線等に関する科学的な理解を基にして、自ら考え、自ら判断し行動できる力や自分の言葉で他者に説明する力を育むことが大切だと考えています。そして、日々の先生方の取組により、子どもたちには、その力が着実に育まれています。

一つ一つの花が集まって、華麗で雄大な美しい風景を創っている、この富岡夜ノ森の桜のように、私たちも、力を合わせて、すばらしい福島を創っていきましょう。

【富岡町 夜ノ森】

特別寄稿

文部科学省初等中等教育局主任視学官

清原 洋一 先生

「子供に寄り添い、
考え判断し行動できる力の育成を」…………… P.76

上越教育大学 副学長

林 泰成 先生

「喫緊の課題に取り組むための
道徳教育・人権教育(改訂版)」…………… P.199



持続可能な社会をつくる学校教育での原子力・放射線教育
—科学・技術・社会相互関連を取扱ったアクティブ・ラーニングへの期待—
…………… P.11

2つの富岡第一中学校バドミントン部…………… P.61

「心優しい科学の子」～正しい知識を身に付けた子どもを育てる～
…………… P.77

幼児期からの放射線教育…………… P.81

教育現場での除染・放射線に関するお手伝い
～除染情報プラザの取組～…………… P.193

未来に向けた種まきとしての放射線教育…………… P.197

「安全」と「安心」の違い…………… P.211

平成27年度 放射線教育推進支援事業 **放射線等に関する指導資料** [第5版]

平成28年3月

発行：福島県教育委員会

印刷：(有)吾妻印刷

Fukushima Prefectural Board of Education.

福島県教育委員会

<http://www.gimu.fks.ed.jp/> (義務教育課)

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。